

従来の修士課程担当(教科教育・教科専門)教員が
新たに加わり、連合教職大学院がパワーアップ!

福井大学大学院
福井大学・奈良女子大学・岐阜聖徳学園大学連合教職開発研究科

連合教職大学院 学生募集案内

授業研究・教職専門性開発コース
(ストレートマスター)

教員免許取得プログラム

連合教職大学院では、2年分の授業料で3年間在学し、1年次に主に教員免許に関する科目を習得することで、①小学校教員1種免許、②小学校教員2種免許+特別支援学校教員1種免許、③中学校と高等学校(教科)教員1種免許、または④特別支援学校教員1種免許(基礎免許を取得済の場合)のいずれかを取得可能な制度設計を進めています。取得された免許の種類と単位、および所属される系の選択により、専修免許状も合わせて取得可能です。大卒者(卒業見込者)が、教員を目指すためのプログラムです。

●「授業研究専門性開発アプローチ」を選択の場合

2年分の授業料で3年間在学し、1年次に主に教員免許に関する科目を習得することで、①小学校教員1種免許、②小学校教員2種免許+特別支援学校教員1種免許、③中学校と高等学校(教科※)教員1種免許のいずれかの免許が取得可能です。
※中高国語, 中高数学, 社会, 地理歴史, 中高理科, 中高英語, 中高音楽, 中高美術, 技術, 工業 の1種または2種免許

●「教職専門性開発アプローチ」を選択の場合

中学校または高等学校教員免許を取得済の方は、現在お持ちの教員免許に加えて、2年分の授業料で3年間在学し、1年次に主に教員免許に関する科目を習得することで、小学校教員1種免許の取得が可能です。

短期留学制度について

教職大学院ではシンガポール国立教育研究所(NIE)と交換留学の協定を結び、毎年、大学院生のシンガポール短期留学を実施しています。この短期留学では、シンガポールの公用語である英語を学び活用しながらNIEの授業を受講し、滞在する学生寮では他国の留学生と生活を共にして異文化理解を深めていきます。さらに、NIEの連携校で集中的に授業参観と授業実践も行います。これらシンガポールの教育環境での実践的な学びを通して、大学院生は国際性を身につけた新しい時代の教師としての素養を培うことができます。(期間は約1ヶ月、参加人数は3名まで。)

奨学金制度について

「福井大学教職大学院次世代教育創生資金」は福井大学基金にもとづき、次世代の教育を担う福井大学教職大学院の院生が安心して学ぶことのできるための財政支援を検討しています。

*福井大学教育学部からの内部進学者で、一定の条件を満たす方が主たる対象です。

*本資金による奨学金制度資料を希望する方は、dpdtrengo@ml.u-fukui.ac.jpまでご連絡ください。

入試情報

詳しくは福井大学学務部入試課(TEL 0776-27-9927)までお気軽にお問い合わせください。

説明会

第1回 令和元年 10月12日(土)
第2回 令和2年 1月11日(土)

令和2年度学生募集日程

第1回 【出願期間】令和元年11月1日(金)~11月7日(木)
【入学試験日】令和元年11月23日(土)
第2回 【出願期間】令和2年1月24日(金)~1月30日(木)
【入学試験日】令和2年2月8日(土)
第3回 【出願期間】令和2年2月17日(月)~2月21日(金)
【入学試験日】令和2年3月7日(土)

学位 教職修士(専門職)
修業年限 原則として2年

必要修得単位 学校における実習(10単位)
共通科目(20単位)
コース別選択科目(15 or 16単位)
計45単位以上

入学定員 60名/現職教員、学部卒進学者

Point 1

自信をもって教師になれる3つの力を育む先進的・革新的プログラム

- ①授業内容開発力 ▶「カリキュラム開発基礎研究I~IV」の新設
- ②カリキュラム・授業開発力 ▶「カリキュラム開発実践研究I~IV」の新設
- ③授業分析力・実践力 ▶「長期インターンシップ」の充実

Point 2

教師の仕事の総体を実践的に学ぶ「長期インターンシップ」

- 学校現場の事例を研究 ▶小・中・高・特別支援のいずれかの学校を拠点とした学び
- 授業研究専門性開発アプローチ ▶週2日間のインターンシップ
- 教職専門性開発アプローチ ▶週3日間のインターンシップ

各自のテーマに応じてデザインできる柔軟で次世代的な学びのスタイル

- 理論と実践の往還 ▶院生と大学教員、学校現場の協働プロジェクト
- ▶4系(授業研究専門性開発アプローチ)を新設

7つのテーマで進めるプロジェクト型学習 ~カリキュラム開発研究科目群~

「カリキュラム開発基礎研究」(8単位)
「カリキュラム開発実践研究」(8単位)

A キー・コンピテンシー
B 健康教育
C 創造性
D 主権者・市民性育成
E 科学技術
F インクルーシブ教育
G 地域とともにある学校

- 教科、学校、世代、国境を超えた学び合い▶合同カンファレンス・インターンカンファレンス・ラウンドテーブル
- 教員免許プログラムの拡大▶教員免許状を持たない学生も本教職大学院で教員免許を取得可能

大学院でこそ教師としての専門性が深まり自信につながります

教師を目指す学部生の皆さん。教師となることに不安や悩みを抱えてはいませんか。教師という職業はやりがいがあると同時に、必要な専門性の獲得は思うほど容易ではありません。新しい教職大学院は、授業やカリキュラム研究を通して授業力を高めるとともに、学級経営や児童・生徒理解の力を深めながら、教師の仕事の総体を理論的・実践的に学ぶことができる大学院です。修士課程の先生方の参画を得て、魅力ある学び合いの場と選択肢のあるカリキュラムを用意し、皆さんを待っています。

連合教職開発研究科長 柳澤昌一



●お問い合わせ 福井大学大学院 福井大学・奈良女子大学・岐阜聖徳学園大学 連合教職開発研究科(連合教職大学院)
〒910-8507 福井市文京3-9-1 TEL:0776-23-0500(代表)

●連合教職大学院ホームページ <https://www.fu-edu.net/>

連合教職大学院

アクティブ・ラーニング、チーム学校、そして学制再編。子どもたち自身が探究し、コミュニケーションし、協働する学習を支える 21 世紀の学校を実現するために、教師の協働の実践力とそれを支える組織マネジメントが不可欠になっています。福井大学大学院福井大学・奈良女子大学・岐阜聖徳学園大学連合教職開発研究科教職開発専攻（連合教職大学院）では、学校改革の取り組みへの参画と実践研究を有機的に結ぶ新しいカリキュラムにより、改革を長期的に展望する力・マネジメント能力・協働実践支援力を培います。

授業研究・教職専門性開発コース（ストレートマスター）

学びのスタイルに応じた2つのアプローチ

2020 年春、実践型教員養成機能の強化を目的に、大学院教育学研究科が連合教職開発研究科に統合されます。授業研究・教職専門性開発コース（ストレートマスター）には2つのアプローチがあります。

●授業研究専門性開発アプローチ<4系選択>

教科内容・教材開発の研究を重視して、チームで教科横断的・実践的なプロジェクトを立案・設計・実践したい人向けです。

●教職専門性開発アプローチ<1~3系選択>

授業実践に加えて、子ども一人ひとりとの関わり方、学活や学校行事や生徒会活動といった特別活動、校内研修といった教師の仕事全般を学びたい人向けです。

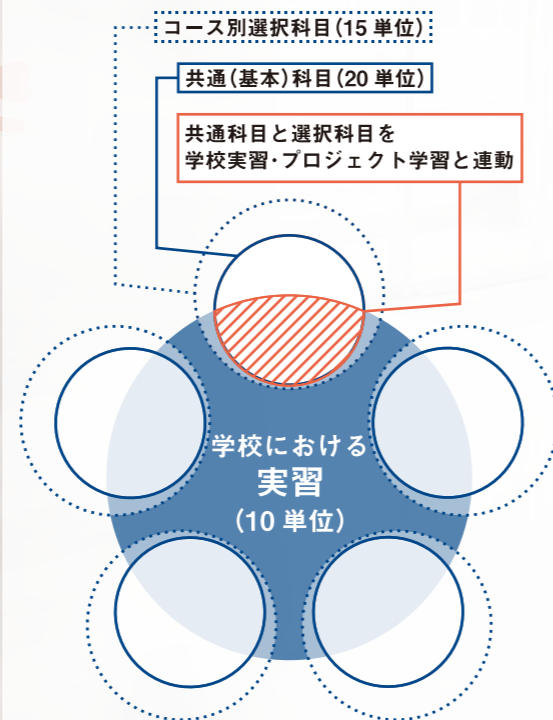
共通カリキュラムの構造

「学校における実習」（10 単位）をコアにして、各系の共通科目とコース別選択科目が連動する構造になっています。共通カリキュラムは領域 i から v です。

- 領域 ii と iii は、長期インターンシップなど学校現場での実習、週間・月間カンファレンスと連動し、長期実践事例研究を行います。
- 領域 i, iv, v は、学校の長期休業期間（夏期・冬期）を活用して、教育実践記録の検討・組織マネジメント理論の検討を集中的に行いながら、公教育改革の理念を理解し、自らの実践の展望を拓いていきます。

共通カリキュラム履修表

区分	授業科目	単位	時期
実習	長期インターンシップ	10	M1 通年
領域 i	カリキュラムのデザインの実践事例研究	2	M1 夏集中①
	カリキュラムのマネジメント実践事例研究	2	M2 夏集中①
領域 ii	授業づくりの長期実践事例研究 I	2	M1 通年
	授業づくりの長期実践事例研究 II	2	M2 通年
領域 iii	児童生徒の成長・発達支援の長期実践事例研究 I	2	M1 前期
	児童生徒の成長・発達支援の長期実践事例研究 II	2	M1 後期
領域 iv	学習コミュニティマネジメント実践事例研究	2	M1 夏集中②
	学校協働組織のマネジメント	2	M2 夏集中②
領域 v	学校と社会	1	M1 冬集中①
	公教育改革の課題と実践 教師の実践的力量形成の課題と実践	1 2	M1 冬集中② M2 冬集中



大学教員が分野を超えて協働し、大学院生の学びを支えます。

カリキュラムの概要

●授業研究専門性開発アプローチ 教科・領域の専門性と指導力で未来を創る先進的プログラム

①授業内容開発力

「カリキュラム開発基礎研究Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ,Ⅳ」は、「カリキュラム開発実践研究Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ,Ⅳ」の基礎となる教科・領域内容の充実を図る科目です。講義・演習・実技科目として設計し、各教科・領域の担当教員は、受講者が選択する学校改革目標群の内容のベースを意識して開講します。（内容に応じて最大3コマ）

②カリキュラム・授業内容開発力

「カリキュラム開発実践研究Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ,Ⅳ」は、「カリキュラム開発基礎研究」の教育内容を踏まえ、学校改革目標群に沿ったカリキュラム設計を行います。なお、「カリキュラム開発実践研究」は基本的に全て複数の教員によるチームティーチングで実施します。

③授業分析力・実践力

学部卒の院生は年間を通した「長期インターンシップ」を軸に、教師の仕事の総体を実践的に学び、高度な専門性を備えた教員を目指します。

1 年次は、週 2 日の学校でのインターンシップにおいて、確かな授業分析力と授業実践力を身につけます。2 年次は、週 1~2 日、拠点校等での「カリキュラム実践」を行うなど、専門性を活かした確かな授業実践力と授業研究力を身につけます。

授業研究
専門性
開発アプローチ
学修例

M1 通年						M2 通年					
	月	火	水	木	金		月	火	水	木	金
1						1					
2		基礎Ⅰ	インターンシップ	インターンシップ		2		基礎Ⅲ	学校での実習・実践 4時間以上		
3					カンファレンス	3					カンファレンス
4		実践Ⅰ				4		実践Ⅲ			
5						5			連動		

●教職専門性開発アプローチ 教師に求められる主要な力を総合的に育む革新的プログラム

①学校組織の一員としての教育実践総合力

1 年次週 3 日の密な「長期インターンシップ」により子どもたちの成長発達に寄り添いながら、各領域・総合的な学習（探究）の時間・道徳科の授業実践、学活・学校行事・生徒会活動等の特別活動、授業研究を含む校内研修に学校組織の一員として参画することで教育実践総合力を育てていきます。

②学校の現実から教育実践の課題を見極め解決する実践省察探究力

2 年次「学校拠点長期協働実践プロジェクト」により、学校で起こる現実的な問題から教育実践の課題を見極め、そのメカニズムを探究し、解決策を見出ししていく実践省察探究力を育み習慣化していきます。

③仲間とのコラボレーションに基づく協働実践革新力

実習校・教師集団との密なコラボレーション、学部卒院生自身の協働学習のコーディネーションを通して、同僚・仲間と学び合い協力しながら教育実践を更新し改善し続ける協働実践革新力を身につけます。

教職
専門性開発
アプローチ
学修例

M1 通年						M2 通年					
	月	火	水	木	金		月	火	水	木	金
1						1					
2		インターンシップ	インターンシップ	インターンシップ		2			学校での実習・実践		
3					カンファレンス	3					カンファレンス
4					授業づくり 協働学習の運営	4					授業づくり 協働学習の運営
5		校内研修 職員会議等に参加	校内研修 職員会議等に参加	校内研修 職員会議等に参加		5			校内研修 職員会議等に参加		